

2016年熊本双発地震激甚災害後の静脈血栓塞栓症についての検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

2016年4月14日、熊本で大地震が発生しました。この災害の後、車内に避難し寝泊まりを行ったいわゆる車中泊を誘因とした静脈血栓塞栓症(以下、VTE)患者が増加し、3次医療センターである当院では、短期間にさまざまな重症度のVTE患者を多数治療しました。まさに驚異的な経験でした。このテーマに関する報告は限られているため、2016年熊本地震後に当院を受診したVTE患者さんの発症と治療をカルテから検証し、症例報告集としてまとめました。この報告が今後の災害起因性VTEの診断・治療指針の一助になることを目的としています。

研究の対象となる方

2016年04月14日～2016年4月30日に当院でVTEと診断された方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、地震発生から来院までの時間、車中泊の有無、採血 data (D-dimer)、下肢静脈エコー、造影CT、広域搬送の有無、処方内容、臨床転帰

研究予定期間

研究実施許可日～2022年7月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 田口英詞

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 田口英詞

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)